

## 神戸市山田町の蛾(続報 I)

松 本 健 嗣

1. ゴマフヒゲナガ *Nemophora raddei* Rebel

1964年4月16日1♂1♀ 北区山田町金剛童子山

4月後半同山ウナギノ手池奥の小湿原脇のヤナギ科 *Salix* sp. の花穂上で現在も見かける。局地性で棲息域は狭小のように思はれる。他では三田市小柿水源池奥で見ている(1969-IV-29)。

当地での食草 *Salix* sp. については筆者浅学にして目下種名は表明できない。

尚筆者は山田町周辺ではヒゲナガガ科として11種を記録している。

2. ハガタシャチホコ *Hagapteryx admirabilis* Staudinger

1975年8月8日1♀ 山田町宇藍那

3. ナカジロトガリバ *Togaria tancrei* Graeser

1973年11月3日1♂ 同原野(現北甲栄台町)

4. ヒメトラガ *Asteropetes noctuina* Butler

1966年6月12日1♂ 同丹生山

上記3種は深い広葉樹林では珍しくないが当地は二次林のためかいずれも少ない。

5. ガマキンウワバ *Autographa gamma* Linnaeus

1973年9月25日1♀ 同宇小部

欧州・シベリア系の蛾で同定して頂いた杉繁郎先生からの私信では目下本州最西の記録との由。

四国からは2ヶ所で採集されている。

6. ゴマシオキシタバ *Catocala nubila* Butler

1973年8月5日1♀ 同原野(現北甲栄台町)

本種はブナ、イヌブナに固有の種とされる。同地から約10km東方の六甲山々頂附近にはそれらの自生地があるので一応そこから飛来したものと看做し度い。尚この記録は藍那地区自然環境調査(1979)で既に報告したが京阪神では数少ない採集例であり、また顕著な移動性を呈す例として改めて本誌に掲載させて頂く次第である。